



QCCダイジェストin福井

2022年度
QCサークル研修会(入門コース)号

開催日：2022年 5月27日(金)
発行元：QCサークル北陸支部福井地区事務局



QCサークル研修会(入門コース)開催

2022年度QCサークル研修会が、5月27日(金)に開催されました。今年度も新型コロナウイルス感染拡大防止の為、昨年同様に入門コースをオンラインで開催しました。今回は、経験の浅い方を対象に福井地区の企業12社 45名の方が受講され、地区役員・幹事18名によって運営されました。はじめに、福井地区の大谷世話人が挨拶を行い、本研修会の目的や狙いを述べました。その後、総合司会より当日の注意事項などが伝えられ、講義に加えグループワーク等の研修が始まりました。



開会挨拶：大谷世話人



総合司会
天谷幹事

◆◇研修会入門コースの紹介◇◆

- 【講義】 品質管理の基本、QCサークル活動の基本等、6つのステップで実施。また、グループワークの解説も交えながら講義実施。
- 【グループワーク】 7つのグループに分かれ3つのテーマについて意見交換し各グループ毎に発表を実施。
- 【その他】 講義の理解度チェック(3回) KT(気づき、次にやること)を書き出し 代表者による発表を実施。

今回ご参加頂いた企業(順不同) 12社 45名

タイヨー電子(株)	(株)金津技研
揚原織物工業(株)	(株)アイシン福井
清川メッキ工業(株)	日華化学(株)
キョーセー(株)	セーレン(株)
信越化学工業(株)	パナソニック(株)IS社
(株)TOKO	パナソニック(株)AM社

多数のご参加ありがとうございました

講義内容

- ①品質管理の基本
- ②QCサークル活動の基本
- ③QCサークル活動のねらい
- ④QCサークル活動の心構えと役割
- ⑤QCストーリーの基本ステップ
- ⑥QCストーリー：問題解決型



講師
加藤副世話人

QCっていったい何？

Q: Quality 品質
C: Control 管理

QCはQuality Controlの略で **品質管理**の意味

品質管理とは…

- 買手の要求にあった品質の製品またはサービスを経済的に作り出すための手段の体系です
- …お客様が望んでいる商品・サービスを効率よく作り出すこと

「製品、サービス、仕事をより良くする」

QCサークル活動の定義

QCサークルとは

- ①職場の第一線の方が
- ②継続的に
- ③製品・サービス・仕事等、質の管理・改善を行う小グループである。

継続的な管理・改善

この小グループは

- ①運営を自主的に
- ②QCの考え方・手法などを活用し
- ③自己啓発・相互啓発をはかり活動を進める

指導・支援を受け自主性を基本

QCサークル活動のねらい

- **強い職場を作る**
 - ・モラール向上
 - ・管理定着と改善活動、管理項目の達成
- **管理の定着を図る**
 - ・定められた作業・仕事を取り決め通り実行
 - ・標準期を遵守、改訂を確実にする
 - ・異常の影響を取り除き、機械・設備の管理を徹底
 - ・再発防止、異常・規格外れの予防
- **モラールの向上と人間関係の向上を図る**
 - ・良く話し合う

モラール：仕事に対するやる気、モチベーションの高さ
モラール：(高)心気が(低)無気力、人気が(高)活気が(低)死気

QCサークル活動の心構えと役割

- [1] 会合に参加する
- [2] 役割を持つ
- [3] 知識を身につける
- [4] テーマ解決に挑戦する

相互啓発の場とする(全員参加) 活動に参画する(積極性)

QCを理解する(能力向上) 経験を積む(自己成長)

QCストーリーと問題解決の基本ステップ

QCストーリー

- はじめに(会社紹介・職場紹介・製品紹介)
- QCサークルの紹介
- 工程の概要
- 現状把握との目標設定
- 活動計画の作成
- 要因の解析
- 対策の検討と実施
- 効果の確認
- 標準化と管理の定着
- 反省と今後の進め方

問題解決の基本ステップ

QCストーリーは、1964年4月号の品質管理誌に掲載されたQCサークル運営の円滑化を図るための手引書(後：小松製作所・東洋工業)の中に公開されました！

問題解決型の手順

- 手順1. テーマの選定
- 手順2. 現状把握と目標設定
- 手順3. 活動計画の作成
- 手順4. 要因解析(検証含む)
- 手順5. 対策案の検討と実施
- 手順6. 効果の確認
- 手順7. 標準化と管理の定着
- 手順8. 活動の反省と課題

PDCAのステップ

Plan (計画) → Do (実施) → Check (チェック) → Act (改善)

6つのステップで品質(QC)の基本から問題解決までを説明

グループワーク

7つのルームに分かれ3つのテーマについて意見交換実施。各ルームには6~7名の受講者と2~3名の世話人で進行実施。



ルームA



ルームB



ルームC



ルームD



ルームE



ルームF



ルームG

オンラインの為、対面ではありませんでしたが、どのグループの参加者も積極的に意見を出し合い、活発な議論がなされていました。

ルーム発表者



アイシン福井
鈴木さん



日華化学
村中さん



信越化学
八鍬さん

ルームから選ばれた受講者が意見交換内容を発表。

K「気づき」、T「振り返り」

K(気づき) T(次にやること)を書き出して頂き代表者1名が発表

K T



気づきを学びに変えるためには、気づきを自分の言葉にして自分なりに解釈することが大切です。自分の言葉で表現してみましょう。学びのためにできるだけ具体的に行動するかを考えてみましょう。

本日の研修での「気づき」「次にやること」を整理し、考えてみましょう

代表発表者



アイシン福井
山口さん

総合講評

皆さんが本当に興味がある事は積極的に行動すると思います。まずはQCサークル活動にも興味を持ち行動を起こすことが重要であると思います。



福井村田製作所
加藤さん

閉会挨拶

オンライン研修会を無事に開催する事が出来て感謝しております。今後も今回の内容を基にオンラインを活用した研修会等を開催していきたいと思っております。



田辺副世話人

最後に皆さんで記念撮影



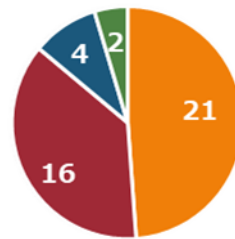
受講者・運営のみなさん

オンライン研修会
皆様大変お疲れ様でした。

研修会アンケート結果

回答43名

理解度

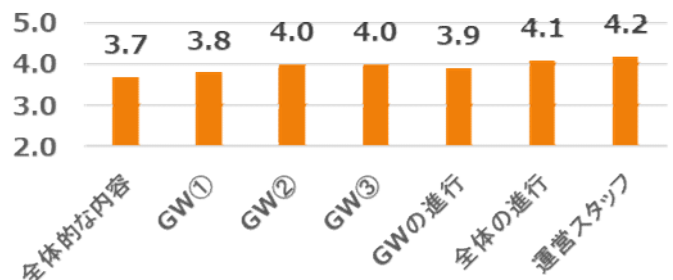


- まあまあ理解できた
- 理解できた
- 理解できない
- 無回答

<参加者様の声(抜粋)>

- QCサークルのメリットと進め方のポイントが理解できた。
- QC手法は先輩の見様見真似だったが、説明を聞いて活用できる自信がついた。
- 異なる業種、視点での意見の重要性を理解できた。

研修に関する満足度 (5点満点平均)



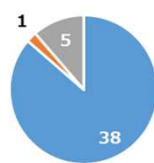
<参加者様の声(抜粋)>

- グループワークの時間が短い。
- 今度は、QC7つ道具の説明を聞いてみたい。
- ファシリテータを運営側でやって頂くことで、スムーズなGWができた。
- 今後はさまざまな人の意見を聞き、多角的な角度から物事を捉えるようにしたい

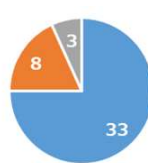
研修会アンケート結果 (オンライン)

回答44名

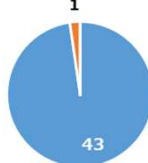
環境(音質)



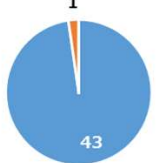
環境(画質)



環境(音量)



環境(サイズ)



■ 良い ■ 丁度良い ■ 悪い ■ 丁度良い ■ 大きい

今回の研修会参加について



<参加者コメント(抜粋)>

- スライドもカメラも見やすかった。
- 聞き取りやすかった。
- オンラインなので会場に行く時間が省けて参加しやすかった。

今回は、各コースのアンケートに答えていただいた方の感想より、いくつか掲載させていただきました。参考になさってください。

またの皆さまのご参加をお待ちしています!

